

立命館経済學

第二十七卷 第六号

昭和五十四年二月

内 容

論 説

- 欧州経済通貨同盟の発展……………清水 貞 俊 1
- 国際価値論の諸論点について……………岩 田 勝 雄 58
- 国有林における労働組織の形成と展開 四 ……………奥 地 正 86
——東北・秋田国有林を中心に——

研究ノート

- 現代資本主義の生産力発展段階……………坂 本 和 一 121
- 共同研究室…………… 132

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第二十七卷・第四号

論 説

労働価値論と需要供給の問題……………小檜山 政 克

アダム・スミスの

自然価格論について(中)……………岡 崎 栄 松

——生産価格論の学史的考察——

国有林における

労働組織の形成と展開(三)……………奥 地 正

——東北・秋田国有林を中心に——

資 料

日本資本主義確立期の

資本の存在形態(七)……………後 藤 靖

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第二十七卷・第五号

論 説

「地域主義」なるものへの批判……………杉 野 暎 明

——杉岡碩夫氏の所説について——

アダム・スミスの

自然価格論について(下)……………岡 崎 栄 松

——生産価格論の学史的考察——

研 究

行政事務再配分における

総合化原則……………藤 岡 純 一

——現代地方財政論序説——

翻 訳

J・R・マカロック著

『石炭税制改革論』(上)……………若 林 洋 夫

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会